

支援理念：「その子がその子らしく生きていく」

こども発達支援ルームまあち
初石教室

支援方針

- 1) **子ども**の出来ることや自信が持てることを試行錯誤しながら増やし、自己決定できる幅を広げていくよう支援する。
- 2) **保護者**と一緒に子どもの理解を深め、その子らしく生きていくための「育ちを支援」する。
- 3) **地域**と連携し、地域の中で子どもがのびのび、いきいきと成長する事ができるように支援する。

健康状態

<健康・生活>
健康状態の維持・改善を図り、規則正しい生活リズムと生活習慣を身につけ、基本的な生活スキルを獲得できるように保護者と園と連携しながら支援します。



心身機能・構造

<運動・感覚>
作業療法士等の個別・集団活動により日常生活を含む活動に必要な姿勢・運動能力及び感覚を経験・体験できるように支援をします。

活動

<認知・行動>
心理士等の個別・集団活動により、ものの弁別・分類・比較・系列化、空間や時間及び数などの概念を育てていきます。また自己・他者・外界の適切な認知を育てることを通して、環境の中での適切な行動に繋がるよう支援します。

<言語・コミュニケーション>
言語聴覚士等の個別・集団活動により、ひとりひとりに合った様々なコミュニケーションが出来るように支援します

参加

<人間関係・社会性>
保育士等の個別・集団活動により、他者との関わりを育て、自己の理解と行動の調整、仲間づくりと集団への主体的な参加を促していけるよう支援します。

個人因子

<体験・経験（行事）>
入園式、散歩、苗植え、七夕、夏祭り、運動会、ハロウィン、節分、クリスマス会、卒業式、食育、避難訓練等

上記の様々な経験・体験を積み重ね自信や自己肯定感を育てていきます。



環境因子

<家族支援>
親子通園により、こどもの様子を見たりFBを受けていくことで、こども理解や関わりができるように支援をします。また保護者同士の交流の場として保護者会を実施していきます。

<移行支援>
就園、就学に向けて関係機関と連携をはかります。また必要に応じて保育所等訪問支援を行いスムーズに移行できるように支援していきます。

<地域支援・連携>
関係機関と連携をはかりながら、こどもが地域の中で育っていけるように支援していきます。また自立支援協議会に参画し、こどもと家族が地域の中で、のびのび・いきいきと成長や生活ができるように地域ネットワークの構築していきます。

